低山

Low Mount Club

'22.4 No.682

創立60年の歴史　**低い山を歩く会**

http://yamajp.com

会員総数・66名（2022・4・1現在）

《目次》

4月号の山行プラン・・・2～3

山行ルポ・・・・・・・・・・・・・3～5 宝登山と長瀞渓谷／曽我丘陵（梅と富士山）／神武寺裏参道から鷹取山／成田山新勝寺／川越街道藤久保宿／田浦梅林から尾根歩き

低山だより・・・・・・・・・・・6　今後の会のありかた／創立60周年記念山行（春季集中山行）

INFORMATION

3月25日（木）終了

4月の編集委員会　4月14日(木)15時
4月の集会・役員会　4月28日(木)15時

会場：IKE・Biz
（としま産業振興プラザ）
電話：03-3980-3131

◎2月の集会・役員会出席者・・17名　◎2月の編集委員会・・5名

◇山行届・事務報告などあらゆる山行の連絡は　リーダーキャップ　熊澤美恵子
電話　090-5318-0292　メール：qqqu9ss9K@basil.ocn.ne.jp

◇集会などに関する問い合わせは　企画キャップ　山本悦子
電話&FAX　03-3903-7535

◇会費の納入などに関する問い合わせは　会計キャップ　眞鍋雅光
電話&FAX　03-3302-2987　（携帯　090-9300-4736）
会費振込先　郵便振替口座記号番号　00150-8-291146　口座名称　眞鍋雅光（マナベ　マサミツ）

◇入会・退会・住所変更・会報の発送その他の連絡は　総務キャップ　坂井郁子
電話&FAX　047-384-0347

◇ホームページに関する問い合わせは　ホームページキャップ　三ツ谷征志（電話は下記）

◇編集に関する問い合わせは　編集キャップ　三田村久子　03-3630-0988　携帯090-9239-2105

緊急連絡先

◆阿武信夫（会長）　電話&FAX 048-822-7228　携帯：090-5429-1685
◆熊澤美恵子（リーダーキャップ）　電話&FAX 042-492-6971　携帯：090-5318-0292
◆三ツ谷征志（遭対キャップ）　電話&FAX 042-324-5854　携帯：090-6021-1457
◆村川征津子（保険担当）　電話03-3828-5207

4月の山行プラン

★10048回
高峯(茨城県)　　A中級
期日　4月9日(土)　　期日変更あり

集合・出発　JR上野駅6時59分発(始発東京駅)宇都宮線(東北本線)7号車車内(10両編成の場合は2号車)。Lは赤羽から乗車予定。小山で水戸行に乗換。
地図　1/2.5万図　羽黒
持物　一般登山用具
コース　羽黒駅(タクシー)＝平沢公民館周辺―平沢林道入口―第一展望台―第二展望台―平沢峠・登山口―高峯―池亀分岐―池亀高峯入口―五大力堂―池亀―義民地蔵(タクシー)＝羽黒駅
歩程　約4時間
ポイント　高峰とも表記され、春は"東の吉野"と言われるほど山桜が見事らしい。仏頂山とセットで歩くのが一般的だが、桜川市側から桜の時期だけ車の通行禁止の林道を登って春景色を鑑賞しながら山頂へ。下りは余力があれば歩程を延ばします。
申込み　4月7日(木)まで
リーダー　服部千重子　03(5934)6131
080(1076)1510
備考　天候と開花情報により期日変更します。

★10049回
地層チバニアンと養老渓谷　　A級
期日　4月11日(月)

集合・出発　東京駅地下ホーム4番線(内房線)7時34分発千葉行車内(中央付近)
千葉着8時15分で内房線8時24分発木更津行に乗換、五井駅8時42分着
五井駅で小湊鉄道上総中野行8時52分発に乗換、月崎駅9時52分下車(チバニアン)　五井駅で房総横断割引切符(1730円)を購入のこと
地図　1/2.5万図　大多喜
持物　里山歩き装備(養老川の中を歩きます。濡れてもいい靴着用)、弁当(必携)
コース　月崎駅―チバニアン露頭―月崎駅＝養老渓谷駅(粟又行きバス乗車)＝粟又の滝(見学)＝養老渓谷駅＝大原駅(東京駅19時30分着)
歩程　2時間
ポイント　地球の歴史46億年を細分し、それぞれの時代に名前が付けられているが、唯一日本の地名がつけられた時代を代表する地層(過去、地球磁場南北逆転があった)が露出する場所を訪れよう。小湊鉄道沿線の菜の花も見れるかも。
申込み　4月6日(水)午後5時まで
リーダー　森田準之助　04(2946)3011
携帯　090(1105)5633

★10050回
桜を求めて　東北白石川一目千本桜　　A級
期日　4月13日(水)

集合・出発　JR東京駅東北新幹線6時12分発つばさ121号(大宮駅6時37分)
出発　福島7時44分着、東北本線8時6分発仙台行、船岡駅着8時56分
地図　不要
持物　ウォーキング用具
コース　船岡駅―船岡観音・船岡城址・白石川堤―目千本桜・太陽の村船岡駅または大河原駅＝福島駅(新幹線乗換)＝東京駅
歩程　散策
ポイント　日帰りで東北の桜を見に行きます。ゆとりがあったら自衛隊駐屯地(開放日のみ)、国営みちのくの杜湖畔公園まで足を延ばし桜めぐりしたい。
申込み　4月9日(土)まで
リーダー　熊澤惠美子　携帯　090(5318)0292
備考　日程は確定ではないです。天気、開花状況によります。昼食は現地で調達できます。

★10051回
厄王山～九鬼山　　A中級
期日　4月23日(土)

集合・出発　JR中央線大月駅改札前　9時00分
参考　JR新宿駅7時21分発中央特快高尾行　豊田駅着7時55分、同駅発8時4分甲府行、大月駅8時56分着　(高尾駅8時20分発甲府行)
地図　昭文社／高尾・陣馬、1/2.5万図　大月・都留

持物　一般登山用具
コース　大月駅―厄王山入口―一の鳥居―二の鳥居―厄王山―御前山―馬立山―札金峠―紺場休場―九鬼山―弥生峠―落合橋―富士急行線壬生駅
歩程　5時間
ポイント　九鬼山山頂からは富士山などが見渡せます。サクラがあります。
申込み　4月21日(木)　20時まで
リーダー　阿武信夫　048(822)7228
携帯　090(5429)1685
anno_nobu@ybb.ne.jp
備考　大月まで休日お出かけパス、のんびりホリデイsuicaパスが利用できます。

★10052回
小持山から高ワラビ尾根へ　A中級
期日　4月24日(日)　雨天順延

集合・出発　西武池袋駅6時13分発準急飯能行飯能駅7時11分着、8時13分横瀬駅着または池袋駅6時50分発特急ちちぶ3号横瀬駅8時9分着のどちらかで
地図　昭文社／奥武蔵・秩父、1/2.5 万図　武州日原
持物　一般登山用具
コース　横瀬駅(タクシー)＝一の鳥居―シラジクボ―小持山―武士平分岐―高ワラビ尾根―城山―浦山口駅
歩程　6時間
ポイント　前回時間がかかり一の鳥居へ下山したので今回は早めに出発して一の鳥居から入り浦山口まで歩くリベンジ山行です。
申込み　4月21日(水)まで
リーダー　熊澤惠美子　携帯　090(5318)0292

山行ルポ

★10032回
宝登山と長瀞渓谷　A級
2月5日(土)

今日は男だけ3人の山行だ。電車を東武東上線に切り替え、寄居経由で長瀞へ行く。
駅からバス、ロープウェイと乗り継いで山頂駅へ。ここから山頂に行く道沿いに蝋梅が咲いている。まだ満開にはいささか早く6、7分咲きといったところだ。蝋梅は中国渡来の植物だそうだが、(蝋)とはよく付けたもので、花びらに蝋(パラフィン)のような艶がある。香りも高い。ただ実は毒だそうだ。
蝋梅もよいが、この山からの眺めが素晴らしい。正面に武甲山があり、右に更に高い山が連なっている。雲取山から甲武信岳へと続く奥秩父の山々である。さらに右を見るとより近く両神山の特徴ある山形が確認できる。武甲山の左は丸山、大霧山、笠山など奥武蔵の山々だ。美の山は荒川を隔てて目の前に。
花と展望を満喫し、昼食を済ませた後、ロープウェイで下山。山麓駅からは宝登山神社にお参りしたりしながら長瀞駅へ下る。駅を通り過ぎ、荒川へ出て川沿いに上流へ向かう。歩きながらいろいろ話が弾む。あの長嶋さんがもう一人の奥さんと長瀞へ遊びに来ていて、ここで倒れ病院に担ぎ込まれたという噂など。そういえば私も去年ここで船に乗ったなあと思い出す。
次に行ったのは埼玉県立自然の博物館。男たちの好奇心を満足させてくれるところだ。ジオパーク秩父のことなど、さらには秩父事件についてまで、いろいろ更なる話題を作らせてくれた。
帰り道、寄居で開店前の焼き鳥屋に無理やり入って最後の勉強会となった。　(森田準之助)
(参加者)L森田準之助・藤田弘治・ゲスト1名
(計4名)
(コースタイム)長瀞駅10:15＝ロープウェイ山頂駅10:50―山頂散策後山頂駅12:00＝山麓駅―宝登山神社―長瀞駅経由自然の博物館13:45―上長瀞駅14:40

★10033回
曽我丘陵(梅と富士山)　A中級
期日　2月26日(土)

国府津駅に降りると垣根の向うに河津桜のピンクの花が私を温かくしてくれる。私の住処とは気温が、2、3度違う感じである。海と明るい陽射しに、ここは湘南であると実感できた。今年は、2月の寒さで開花が遅れているとのことであった。確かに下曽我駅前の白梅にはつぼみが多い。急遽コースを変更し上大井駅ではなく、楽な下曽我から梅林を目指すことにした。みんなの歩いている方向についていくと予定とは逆の別所梅林に着いた。途中のお宅の築山越しに見えた真白き富士は、朝日を浴びて白銀に輝き神々しい。絶え間ない人の往来とスピーカーの声に追い立てられるように、予定の瑞雲寺に向かった。小田原牧場アイス工房前を通り小田原鋳造研究所なるところを覗く

と何か我楽多を販売しており、その先では机の上に特産品を並べ販売している。何かの研究所なのか、その先に行くと暗がりに人がおり尋ねると研究所とのこと、確かに坩堝(かんか)らしきものがあった。何を研究しているかは定かではないが作品は風鈴であった。傍からのゆっくりしていきなさいとの声に誘われ奥の梅の木の下のテーブルでくつろいだ。奥にはホルスタイン(張り子)がいて、さらに奥には菜の花が咲き、その中に研究所の研究員がいて、青い空、実にのんびりゆったりくつろぐ。歩を進め瑞雲寺を目指す。鐘の音がする。鐘木(しゅもく)がソレノイドで自動的に制御されている。
工作好きの坊さんの作品か。中河原梅林は母娘の一組だけであった。ここで昼食とする。もう富士は見えなかった。梅は蕾が多かったが十分楽しめた。神々しい富士も拝めた。風もなく暖かな花見で満足した。
(阿武　信夫)

〈参加者〉L阿武　信夫・SL網代　節子・藤田　弘治(計３名)

〈コース〉下曽我駅－下曽我小学校－別所梅林－別所薬師堂－小田原牧場アイス工房－伝曽我祐信宝篋印塔－NPO 法人小田原鋳造研究所－曽我神社－瑞雲寺－中河原梅林－別所梅林－下曽我駅
〈コースタイム〉ぶらぶら歩きハイキングにて省略

★10035 回
神武寺裏参道から鷹取山　A中級
期日　2月23日(水・祝)　2月19日を変更

神武寺駅から線路沿いに六浦方向へ歩き、逗子中学手前にある道標で右折、老人ホームを過ぎると山道になる。ほどなく石切り場跡があり、小さな沢沿いの道を行く。急な石段を登ると東逗子駅からの表参道と合流し、神武寺総門から境内に入る。

歴史のある寺は見所が多い。朱塗りの楼門をくぐって薬師堂へ。その左手から再びハイキング道に入る。少し行くと右手に踏み跡があり、登ると三角点のある小ピークに出た。展望の良い所で「十州望」というらしい。さらに進んでまた脇道から小ピークに登ると、ここも展望が開け、出発時の寒さとは打って変わって陽だまりが心地よく、一休みする。

鷹取山一帯の岩は凝灰岩(ぎょうかいがん)とのことで、太古に海から隆起したことを随所で感じる。次は鎖場、よく整備され、岩の足場はしっかりしているが、年齢を考えて慎重に登る。ここを過ぎると開けた台地に出て、巨大な岩登りのゲレンデが現れる。何
組か練習していたが、昔とは違い許可制になっている。

台地から階段を上がって展望台(頂上)に出ると、東西南北、東京湾を隔てた様々な眺望がすばらしい。
戻って台地の下にある鷹取山公園で昼食。その後は摩崖仏を見に行く。高さ約 8mの巨大な弥勒菩薩尊像が岩壁に彫られており、横須賀市在住の彫刻家が昭和 35 年から約１年かけて製作したそうで、なかなか見ごたえがある。その他見たい所があったが、下調べ不足で結局わからずじまい、皆さんをウロウロさせてしまった。

下りは追浜駅へ行く予定だったが、すぐに舗装道路に出てしまうので、尾根伝いに歩ける田浦駅へ変更した。スダジイの大きな古木や樹間から真っ青な海が見えるゆるやかな道を進むと「浜見台・田浦」への分岐がある。「先へ進もう」という声にうながされ足を延ばすと、42 号鉄塔に着いた。道標はないが、ここからいったん下り、送電線巡視路の仮設階段を登り下りして住宅地に出た。不明瞭な「田浦」への道標に？と思いながらも進み、途中で人にたずねながら田浦駅へたどりついた。

標高わずか 139mの低山だが、眺望が良く変化に富んだ魅力のあるコースだと思う。　(服部千重子)

(参加者)L服部千重子・井上恵子・今西光輝・熊澤美恵子・桑崎せつ子・藤田弘治(計6名)

(コースタイム)神武寺駅 10:00―石切り場跡 10:16―神武寺総門 10:30～50―三角点 11:00―小ピーク 11:10～18―岩登りゲレンデ 11:37―展望台 11:45―鷹取山公園 12:00～25(ロスタイム約20分)―摩崖仏 12:47―浜見台・田浦分岐―42 号鉄塔 13:26～14:00―京急田浦駅 14:33

★10037 回
成田山新勝寺とその周辺　A 級
期日　2月 26 日(土)

何年ぶりなのか？少なくとも2度は来てるはずだが？駅前の風景も全然記憶にない。当会姐御ベストメンバー4 名とお爺さん１名で表参道に向かう。

昔ながらの老舗土産物店、木造3階建て商家も残る門前町は、コロナ禍後久しぶりに見るなかなかの人出。初詣の参拝客数は明治神宮に次いで全国第2位というのも納得。羊羹、うなぎ、せんべい、漬物など和の店が多いのが嬉しい。

立派な総門をくぐり、仁王門のある階段を登ると沢山のお堂の建つ広い境内へ。大本堂でお不動さまに、いろいろお願いし裏手にある成田山公園へ。

大、小の池3つ、滝もある広大な大庭園にびっくり。全国でも数少ない書道専門の美術館もある。

公園を回遊し表参道にもどると、空きっ腹にもうもうたる煙と蒲焼の臭いが。お目当ての 3 軒の有名うなぎ屋は何時間待ち。仕方なく待ち時間なしの店に入る。土産物を物色しながら駅に。間口の広い大きな乾物屋を発見。昔は町内に一軒は必ずあったのに。家庭的な姐御たちは豆、干瓢、お麩などを購入。

成田山を満喫した年令相応の愉しい一日でした。

（山崎玉枝）

（参加者）L 今西光輝・SL山崎玉枝・坂井郁子・中里薫・服部千重子（計 5 名）

（コースタイム）JR 成田駅 10:30—総門 10:50－成田山公園 11:10－総門 13:00－昼食 13:10～14:30—京成成田駅 14:50

★10040回
川越街道藤久保宿周辺　　A級
3月5日（土）

目先を変えて川越街道を歩くことにする。川越街道は戦国時代太田道灌が江戸と河越（川越）を結ぶために作ったといわれる。その後群馬県の藤岡まで児玉街道として伸ばされ、中山道のバイパスとして利用されたそうだ。

昭和に入り重要道路として拡幅されたり移し替えられたりしているが、所々並木道が残っていて昔の風情が偲ばれるところがある。今日はその一部に触れてみようという企画である。

鶴瀬駅で降りて、まず立ち寄ろうとした公園と神社が見つからない。私が頼りにした案内図と現在の道や建物の様子があまりにも変わってしまって、何人もの住民に聞いてもよく分からない。やむを得ず駅から西へ伸びる大通りへ戻って、やっと街道へ出ることが出来た。着いたところは、杉並木の中央分離帯の南の端で、庚申塚があり、また大きな「川越街道」と書かれた石碑が立っていた。

街道を南へ進む。車の多い道で大型店やレストランが並んでいる。広源寺という寺がありその境内でひと休みした後、スシローという回転寿司店を見つけそこに入った。新式の店で食べ物を注文するのにオロオロしながら何とか食い終わることが出来た。

この辺りからまた中央分離帯が現れ、今度は欅の並木道だ。更に街道を進みみずほ台駅入口を過ぎた辺りから左の脇道に入る。目指すのは三芳町の歴史民俗資料館だ。見学ののちここで道を聞いて、こぶしの里へ向かうが、竹間沢へ下ることが分かり、その前に高台にある泉蔵寺と竹間神社に寄ろうと引き返す。しかし何の特徴もない寺社だった。これなら沢に沿って歩いた方がよかったなと思いながらも、参加の皆さんには何も言わずそのまま東へ進み、浦所バイパスを横切り、竹間沢東公園で最後の休みをとる。あとは志木大橋を渡って柳瀬川駅に辿り着き解散した。

（森田準之助）

（参加者）L森田準之助・武井光子・井上恵子・今西光輝・奥山冨士子（計5名）

（コースタイム）鶴瀬駅 10:05—川越街道庚申塔 11:15—広源寺 11:30—スシロー—11:50～12:30—三芳町資料館 13:30～50—こぶしの里 14:00—泉蔵院 14:15—竹間沢東公園 14:35—柳瀬川駅 15:15

★10041回
田浦梅林から尾根歩き　　A中級
期日　3月6日（日）

この頃は日増しに春の気配が濃くなっています。3月 2 日に森田さんの北越谷梅林に参加した時は、風も冷たくまだまだ冬だなあとの思いが強かったですが、今日 3 月 6 日の陽射しはもう春だよと告げています。南に 100km、距離も大きな要素でしょうが！。

JR田浦駅から階段を登った田浦梅林の梅は見事に咲き誇っていました。花の間に久里浜の煙突と青い海が見えます。その先は袖ヶ浦の煙突でしょう。ここには展望台があります。展望台に登って改めて東京湾をしみじみ眺めます。21 フィート、オモチャのようなヨットを浜離宮マリーナから油壷へ廻航した日は 55 年の昔になりました。チャート（海図）の見方も知らずロランもなく夜間航海など初めてでした。久里浜の岸壁に着けて文句を言われるのもイヤで沖架かりで一晩過ごした夜は今でも鮮明に思い出します。

展望台を降りて下山です。国道に出て 14 時 51 分のバスでJR逗子駅に着いたところで、今日同行の横塚さんがお酒を付き合ってくれるそうです。一緒に飲んでくれる人がいるのは嬉しい限りです。今日の山行が一段と楽しくなりました。　（藤田弘治）

（参加者）L熊澤美恵子・藤田弘治・藤沼淑江・横塚征一郎（計4名）

（コースタイム）JR田浦駅09:55～田浦梅林10:15－登山道11:00－乳頭山11:35～12:00－新沢分岐14:05－水源地入口バス停14:35（バス）＝葉山・逗子駅

低山だより

低い山を歩く会の運営、今後の会のあり方についての検討会

当会は創立 60 周年を迎えましたが、会員数が大きく減少し、平均年齢も高齢化しています。このような状態で、かつてと同様な運営、体制や会則のままで進めていって良いのか検討、協議する必要があるのではないかと思います。そのためには全会員に参加していただき、話し合うことが本来の姿とは思いますが、事前にいくつかの方向性をまとめておきたいと思います。

そのための検討会を３月から催していきます。出席者は、取りあえず会長、副会長、リーダーキャップ、各部門のキャップとして検討を重ね、順次全体へ広げていく予定です。

第１回検討会開催　日時　2022 年３月 31 日(木)　集会･役員会と同日　14 時から15時
　　場所　集会会場　6階第2会議室

会長　阿武信夫

低い山を歩く会創立 60 周年記念山行（2022 年度春季集中山行）のご案内

昨年、台風の影響で谷川岳周辺の 60 周年記念山行を中止しましたが、今回は春季集中山行を兼ね、場所と日にちを変えて催すことにしました。貸切バスによる山行です。日頃顔を合わす機会の少ない方々と交流できる良い機会です。また、今回は、なるべく多くの方々に参加していただけるよう日曜日に設定しました。会員の皆様、万障繰り合わせの上、ふるってご参加ください。

期日　2022 年６月５日(日)
場所　北八ヶ岳"麦草ヒュッテ"周辺
集合　IKE･Biz(集会会場)前　６時 45 分
出発　７時(時間に遅れないようお集まりください)
コース　山歩き、散策等4～5コースを検討中。詳細は会報５月号に掲載します。

＊貸切バス料金は基本的に会が負担します。状況が大きく変化した場合は応分の負担をお願いする場合があります。

◎4 月の山行プランについて
本4 月号掲載の山行プラン５本(グレードの内訳、A 級２本、A 中級３本が２月 25 日の役員会で了承されました。
◎令和４年(2022 年)５月の編集委員会は５月９日(月)、集会･役員会は５月 25 日(水)です。
◎会員動向　◇退会　藤田洋子（３月31日）
◎2 月25 日の集会出席者(順不同)
阿武信夫･服部千重子･熊澤美恵子･奥山冨士子･植村早苗･網代節子･武井光子･井上恵子･山崎玉枝･山本悦子･三田村久子･金沢正秋･森田準之助･今西光輝･眞鍋雅光･村川征津子･横塚征一郎　計 17 名

低山　通巻 682 号　2022 年４月号　発行／2022 年４月１日発行）発行人／阿武信夫（低い山を歩く会会長）発行所／低い山を歩く会　〒330-0064
さいたま市浦和区岸町 7-3-3　☎048－822－7228
頒価／300 円（送料 120 円）　編集委員／三田村久子・浜橋保代・金沢正秋・山崎玉枝・伊東栄子・横塚征一郎　版下作成／横塚征一郎
〒185-0021 東京都国分寺市南町 1-7-11
TEL＆FAX　042-323-6080